

## 令和5年10月末現在における安全運転管理者選任事業所の交通事故発生状況（千葉県内）

本資料は、安全運転管理者選任事業所、又は運転代行業（以下「安管事業所」といいます。）の従業員が千葉県内において業務中又は通勤中に起こした人身事故を分析したものです。

注1：物件事故（人の死傷を伴わない事故）の数値は含まれていません。

注2：業務中又は通勤中以外のプライベートな用務中の事故の数値は含まれていません。

注3：本資料には、他県の安管事業所の従業員が千葉県内で起こした事故の数値が含まれていますが、本県の安管事業所の従業員が他県で起こした事故の数値は含まれていません。

### 1 安全運転管理者等選任事業所の交通死亡事故の概要（千葉県内）

番号	発生日時	場 所	路線名	第1当事者	第2当事者	通行目的
1	1月12日（木） 20:06	佐倉市 木野子	市道	電機・ガス業50歳代（男） 普乗	50歳代（女） 歩行者【死亡】	業務
2	1月25日（水） 7:20	四街道市 鹿放ヶ丘	市道	建設業70歳代（男） 普乗【死亡】	単独死亡事故	業務
3	1月29日（日） 8:12	匝瑳市 山崎	市道	卸売・小売業20歳代（男） 普乗	50歳代（男） 軽乗【死亡】	業務
4	2月13日（月） 9:55	旭市 西足洗	市道	建設業30歳代（男） 大貨	40歳代（男） 歩行者【死亡】	業務
5	2月16日（木） 20:46	市川市 香取	市道	運送・郵便業40歳代（男） 軽二輪【死亡】	単独死亡事故	業務
6	3月4日（土） 13:35	いすみ市 日在	駐車場	卸売・小売業60歳代（男） 中貨	80歳代（女） 歩行者【死亡】	業務
7	3月6日（月） 14:48	八千代市 ゆりのき台	市道	卸売・小売業60歳代（男） 普貨	80歳代（女） 歩行者等【死亡】	業務
8	3月22日（水） 13:46	市川市 田尻	高速道	サービス業30歳代（男） 中貨【死亡】	50歳代（男） 準中貨	業務
9	5月24日（水） 19:50	富津市 篠部	国道 465号	宿泊業50歳代（男） 普乗	30歳代（男） 歩行者【死亡】	通勤
10	6月7日（水） 4:55	松戸市 古ヶ崎	県道	医療・福祉60歳代（男） 軽乗【死亡】	60歳代（男） 大貨	通勤
11	6月22日（木） 19:50	大網白里市 駒込	県道	医療・福祉30歳代（女） 軽乗	50歳代（男） 歩行者【死亡】	通勤
12	7月18日（火） 17:55	松戸市 小金原	市道	医療・福祉50歳代（女） 軽乗【死亡】	70歳代（男） 中貨	通勤
13	9月17日（日） 17:00	君津市 八幡	市道	サービス業40歳代（男） 軽二輪【死亡】	70歳代（男） 普乗	通勤

令和5年10月末現在における死亡事故の主な特徴は次のとおりです。

(1) 死亡事故が著しく増加しています。

令和4年中に発生した交通死亡事故は11件、死者11人でしたが、本年は10月末現在で13件、死者13人（前年同期比+3人）となっており、すでに昨年の死者数を超えています。

（10月中死亡事故の発生はありませんでしたが、7月18日の事故が新たに計上されたため、本年の累計発生数が13件になっています。）

(2) 歩行者が死亡した事故が13件中6件（令和4年中4件）で、歩行者が犠牲となるケースが増加しています。

(3) 13件中8件が業務運転中に発生しており、業務運転中の死亡事故に関しては、すでに昨年（4件）を大きく上回っています。

(4) 第一当事者13人中6人が自らの過失により死亡しているのも本年の特徴です。

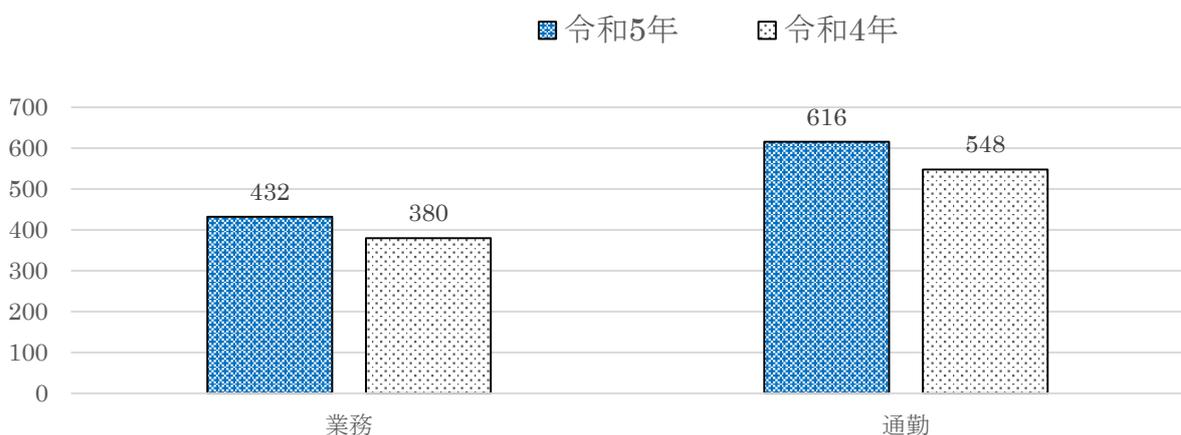
## 2 安全運転管理者等選任事業所の交通事故発生状況（千葉県内）

		10月中				累 計			
		令和5年	令和4年	増減数	増減率	令和5年	令和4年	増減数	増減率
発生件数		122	119	3	2.5	1,048	928	120	12.9
昼	日の出1時間後	5	4	1	25.0	32	39	-7	-17.9
	その他昼	69	67	2	3.0	696	590	106	18.0
	日の入1時間前	9	9	0	0.0	79	57	22	38.6
	昼計	83	80	3	3.8	807	686	121	17.6
夜	日の入1時間後	12	14	-2	-14.3	79	96	-17	-17.7
	その他夜	25	24	1	4.2	140	135	5	3.7
	日の出1時間前	2	1	1	0.0	22	11	11	100.0
	夜計	39	39	0	0.0	241	242	-1	-0.4
死者数		1	1	0	0.0	13	10	3	30.0
負傷者数		142	154	-12	-7.8	1,259	1,110	149	13.4
重傷者数		16	11	5	45.5	107	88	19	21.6
軽傷者数		126	143	-17	-11.9	1,152	1,022	130	12.7

令和5年10月末現在における安管選任事業所従業員に係る交通事故は、昨年同期に比べ発生件数が+12.9%、死者数が+30.0%、負傷者数が+13.4%と大幅に増加しています。

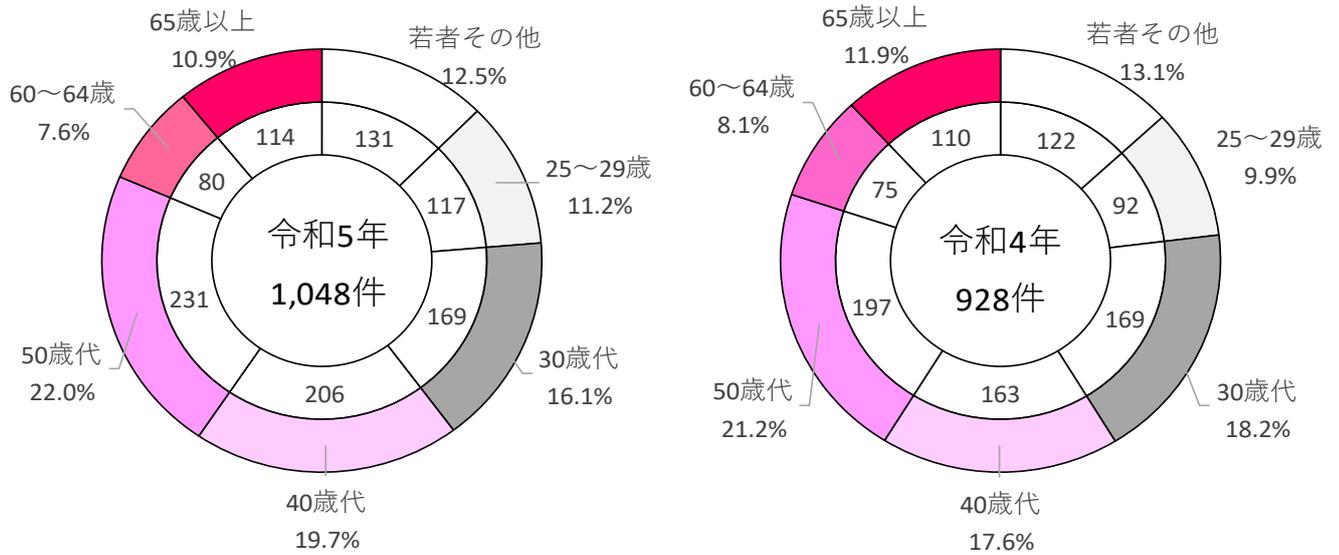
## 3 第1当事者の運行目的別発生状況

(人)



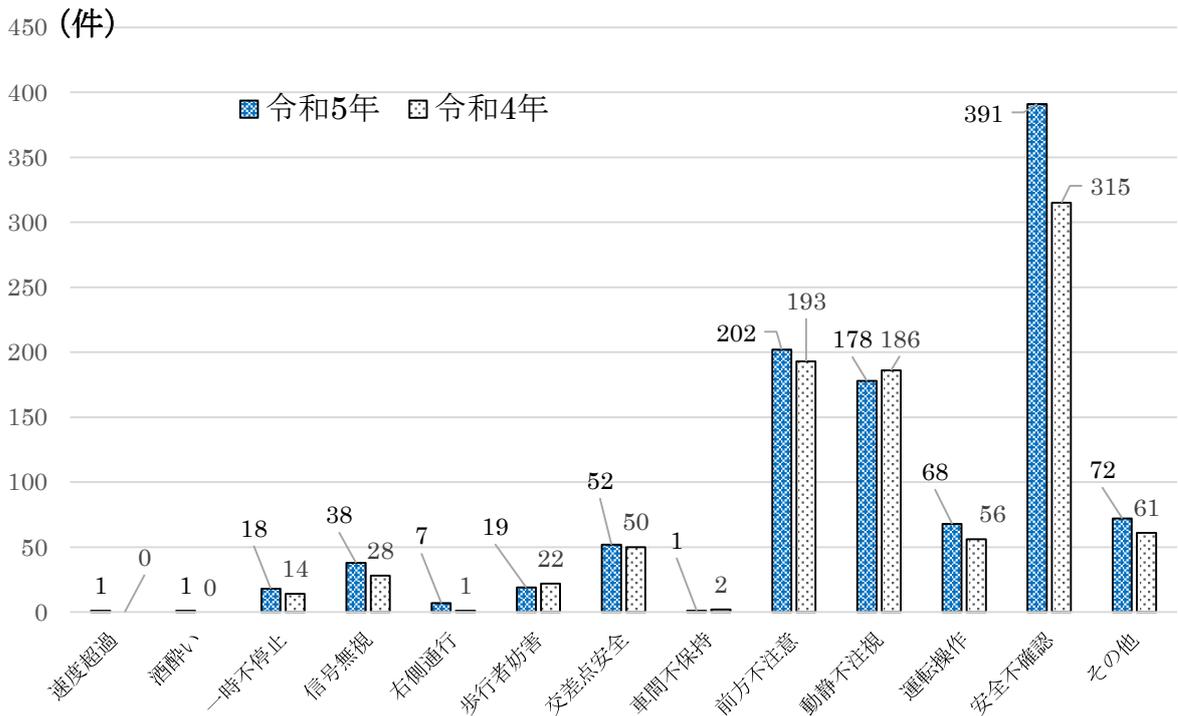
運行目的別では業務中より通勤中の事故の方が多くなっています。マイカー通勤中の交通事故であっても、民法上の「使用者責任」により、雇用主等が賠償責任を負うことがあります。通勤中の安全運転管理にも取り組んでください。

#### 4 第1当事者の年齢層別発生状況



30歳代は昨年と同数ですが、他の年代は全て増加しており、40歳代の増加率が最も高く2.1パーセント増となっています。

#### 5 第1当事者の違反・原因別発生状況



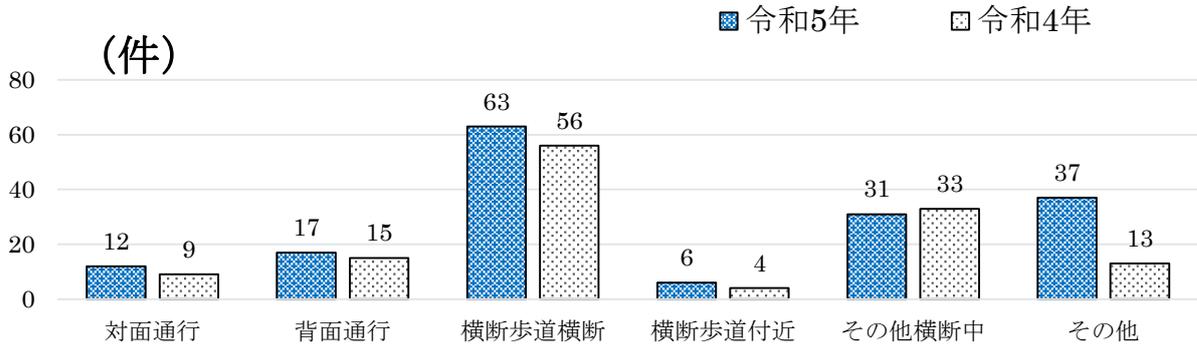
事故原因は、前方不注意、動静不注意、運転操作不適、安全不確認などの安全運転義務違反が計839件で事故原因の80.1%を占めています。

また、酒酔い運転による事故が1件発生しています。アルコールチェックを確実にやり、飲酒運転の根絶を図ってください。

注1：酒気帯び運転は事故原因として計上されていません。

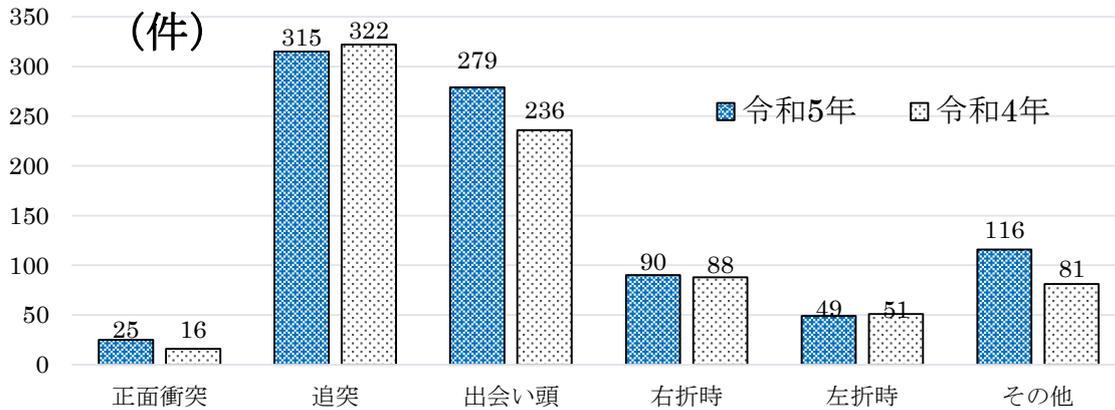
## 6 事故類型別発生状況

### (1) 人対車両 (計 166 件)



横断歩道横断中の歩行者は最も保護されるべき交通パートナーですが、人対車両事故 166 件中、横断歩道横断中の事故が 63 件（前年比+7 件）と最も多くなっています。右折または左折して横断歩道を通る際には歩行者を見落としやすいので注意してください。

### (2) 車両相互 (計 874 件)



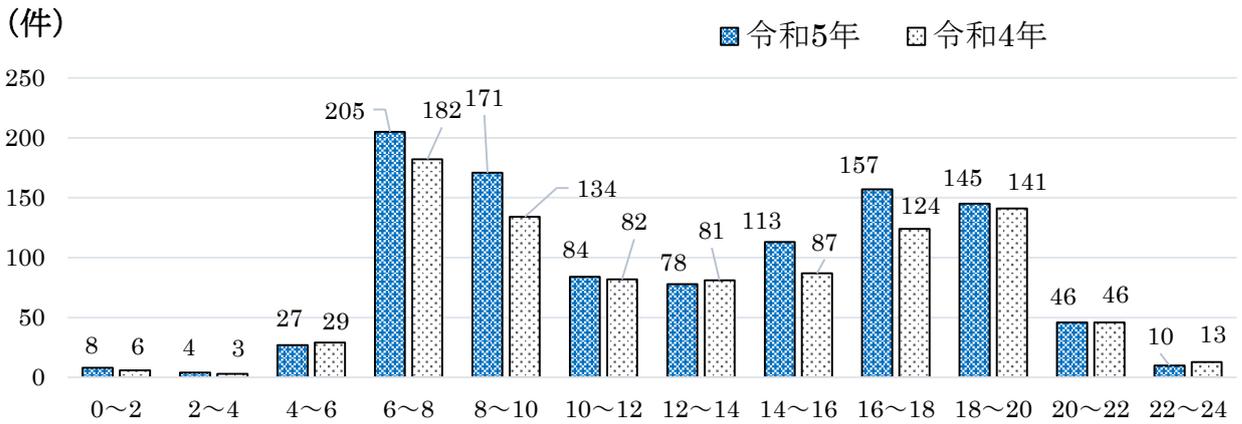
最も多い事故形態は追突（315 件、全事故の 30.1%、前年比-7 件）でした。次に多かったのは出会い頭（279 件、同 26.6%、同+43 件）です。出会い頭事故が追突に迫る勢いで増加しているのが本年の特徴となっています。出会い頭事故は追突事故に比べ重傷事故になりやすいので、交差点における徐行、一時停止と安全確認を徹底して下さい。

### (3) 車両単独 (8 件)



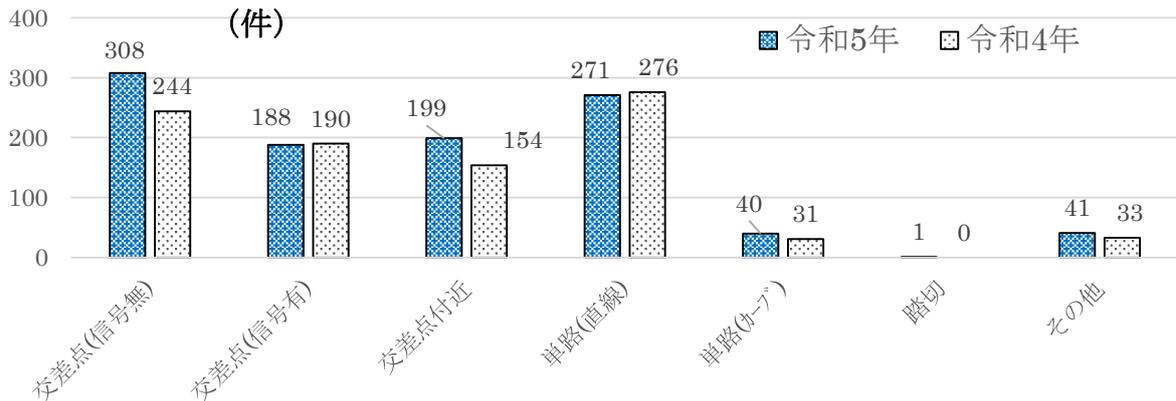
単独事故は 8 件（前年比+5 件）で内 2 件が死亡事故です。

## 7 時間帯別発生状況



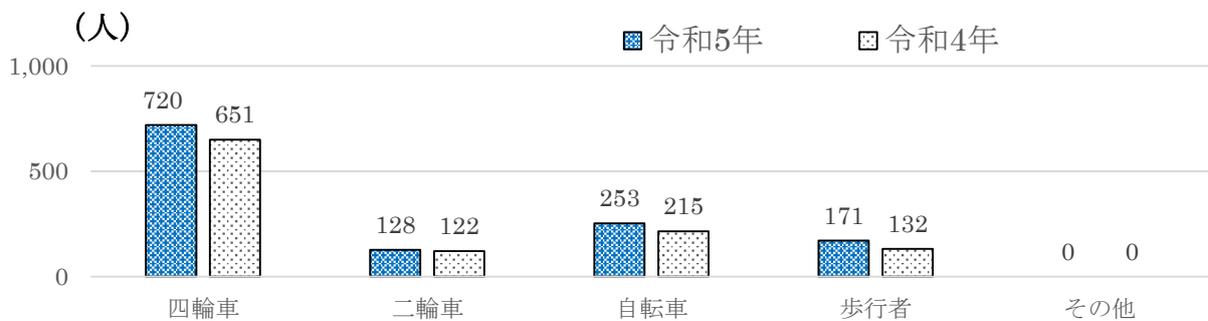
時間帯別で最も多かったのは、6時から8時までの時間帯に205件（全事故の19.6%、前年比+23件）でした。また、6時から10時までの時間帯に376件（同35.9%）、16時から20時までの時間帯に302件、（同28.8%）の事故が発生しており、朝夕の通勤時間帯の事故が多くなっています。

## 8 道路形状別発生状況



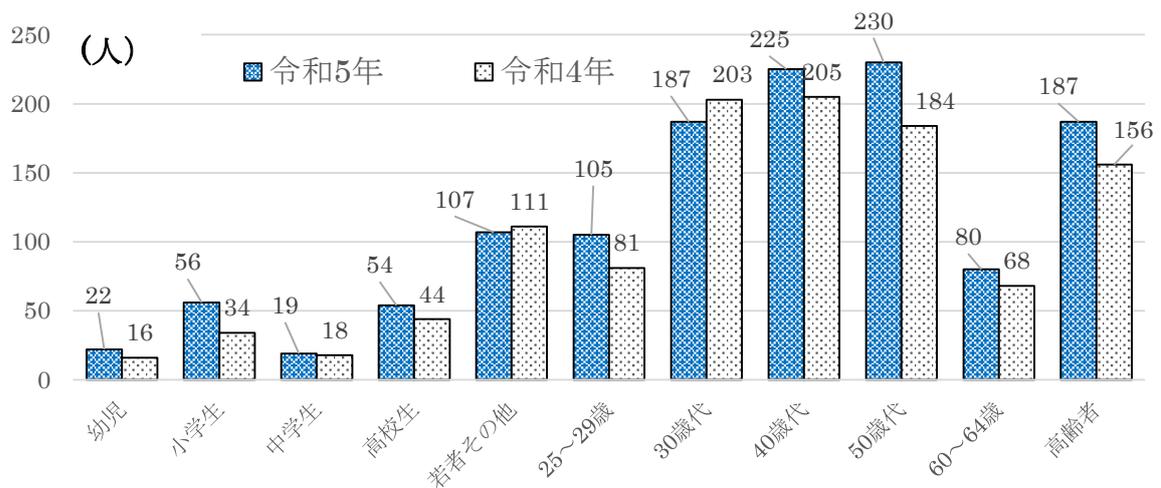
道路形状別では、交差点（信号無し）が308件（前年比+64件）、交差点付近が199件（前年比+45件）と増加しています。信号なしの交差点での事故が増加している要因の一つとして、6の（2）で触れた出会い頭事故の増加が影響していると考えられます。

## 9 死傷者の状態別発生状況



四輪車乗車中が最も多く720人（56.6%、前年比+69人）、次いで自転車の253人（19.9%、同+38人）でした。3位の歩行者は171人（13.4%、同+39人）でした。

## 10 死傷者の年齢層別発生状況



死傷者が最も多いのは50歳代の230人（18.1%、前年比+46人）であり、昨年（令和4年）の3位から最多の年齢層になっています。

高齢者187人（14.7%、同+31人、3位）の増加も目立っています。